



# 「オリエンテーリング」

～安全にかかわるお話～

## ・山の中で走らない

山の中は、石や木の枝、根っこなど躓きやすいものが多いので、思わぬ大ケガにつながることから、絶対に走らない。仲間とはぐれないためにも、絶対に走らない。

地図をよく見ながら、山の中をくまなく探検し、ポストをより多く見つける活動ですので、走る必要はまったくありません。

## ・仲間と一緒に行動する

道に迷ったり、遭難したりする可能性があり、命にかかわる事故につながるため、グループで声を掛け合い、はぐれることがないようにコミュニケーションをとって行動する。特に、単独行動は、熊と遭遇しやすく危険なため、グループやバディでかならず点呼をとりましょう。

Cf.運動の苦手な友達や足が痛い友達を気遣って、ゆっくりみんなで歩く。

「おまえ、ちゃんとして来いよ」「遅くないもん！」と喧嘩になった末に、隊列の距離も心の距離もあいてしまうケースがある。

靴ひもがほどけるなどトラブルがあったら、すぐ近くの友達に声をかける。

「俺はこっちをさがすから、お前はあっちを探して！」と班を分断しない。

## ・不安になったらもと来た道を引き返す

迷子や遭難の可能性があり、命にかかわる事故につながるため、「おかしいな？」と誰かが気づいたら、いったん止まって、もと来た道を引き返す。

「引き返すことも、素晴らしい判断であり、勇気です。」

特に夏場、雷の音が聞こえたり、急に気温が下がったり、風が強く感じたりした際は、天気が急変する場合がありますので、すぐに引き返しましょう。

### 【引率者の皆様へ】

○熊鈴は携行しているか、確認をお願いいたします。

○上記「セーフテイトークの内容」を必ず子どもたちに伝えてください。

○活動の**最初(はじめ)**と**終了後に必ず点呼をとり、自然の家まで報告**をお願いいたします。

必要に応じて、自然の家職員による「シルバコンパスの使い方」の説明も可能ですので、お気軽にお声かけください。

